

# 盛岡初の道の駅「もりおか渋民」たみつとが令和7年4月26日にオープンしました！ ～盛岡・玉山の「農業」と「ひと」を紡ぎ、持続可能な地域を創る拠点～

道路環境課



道の駅  
もりおか渋民  
Morioka Shibutami

## ■ 道の駅「もりおか渋民」とは

道の駅「もりおか渋民」は、盛岡市中心部から車で約40分の距離にある市内北部の玉山地域（旧玉山村）に整備したもので、岩手県内でも有数の交通量である一般国道4号沿いの立地を活かした北部のゲートウェイとしての役割が期待されています。

また、玉山地域の農業をはじめとする地域経済の担い手不足などの課題が顕著であることから、本道の駅の整備によって、農畜産物の高付加価値化や販売戦略の構築を推進し、地域の将来の担い手の育成・確保、稼げる農業への転換を図り、将来にわたり持続可能な地域を創る拠点となることを目指しています。

## ■ 位置図



## ■ 施設概要

敷地面積：35,225㎡、建築面積：2134.3㎡  
延床面積：2031.6㎡、総工事費：約20億円  
駐車台数：全128台（大型用16台、普通車用89台、思いやり駐車場3台、従業員用20台）

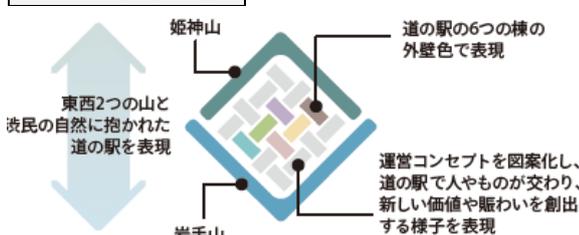
## ■ 建物概要

木造（全て盛岡市産材を使用）、一部RC造  
A棟 トイレ、休憩・情報提供施設、子どもの遊び場  
B棟 産直・物販、事務室  
C棟 フューチャーセンター  
D・E棟 テナント（6区画）  
F棟 レストラン・防災倉庫

## ■ 特徴

- \* 岩手山と姫神山の美しい眺望を楽しめる空間づくり
- \* 当該地域で生まれ育った詩人、歌人の石川啄木の短歌から想起した6棟の外壁色
- \* 石川啄木記念館につながる散策路を整備し、啄木ゆかりの施設へのアクセス拠点
- \* 地域の農畜産物など地域資源を味わうとともに活用・発信する場の産直・レストラン・テナント
- \* 道の駅の機能を繋ぐ、多様な人々が対話により新たなものを生み出す場となる「フューチャーセンター」

## ■ ロゴデザイン



オープン記念式典 テープカット



道の駅「もりおか渋民」たみつと 外観

